

東京大学における電力需給対策に係るこれまでの節電状況等について

東京大学電力危機対策チーム

本学では、今般の電力危機に際し、大学が社会に対し先導的役割を果たす必要性から、研究と教育の質を確実に維持しつつ使用最大電力の30%削減など積極的な節電目標を掲げ、「電力危機対策チーム」を組織し、空調の運用の効率化、照明器具の間引きの徹底、電算機サーバーの集約化、電気使用量の見える化（大学ホームページに公表）、活動時間のシフトなど節電対策に取り組んできました。

この夏の厳しい電力供給事情の中、7月及び8月の電力使用の最盛期を経過いたしました。これまでの電力の削減状況については、下記のとおり、概ね所定の目標に沿った形で推移しております。

今後も、教育研究活動の質を維持しつつ、引き続き効果的な電力抑制に取り組んでまいります。

○ 4月～8月の節電状況（対前年の同月比）

最大電力：4キャンパス（病院を除く）で31%減（平日の平均値）

（使用電力量）：4キャンパス（病院を除く）で23%減

【別添資料参照】

参考 URL：http://www.u-tokyo.ac.jp/public/anti_disaster_20110311_j.html

お問い合わせ先： 本部環境課 渡邊 北澤
TEL 03-5841-2250, 03-5841-2251
E-mail energy @ ml.adm.u-tokyo.ac.jp

電力ピークカット目標達成状況及び電力量実績

2011.9.13 環境課

